

# 私たち 戌(いぬ)年 生まれ

新年あけましておめでとうございます。  
今年の干支は戌戌（つちのえいぬ）。  
戌年生まれのご家族などにご登場いただき、新年の抱負などをお伺いしました。



ぼくたち、わたしたち  
平成18年生まれの戌年です





<須見家>

郁代さん(昭和33年) 芳子さん(昭和9年)

芳子さんは、縁がありお見合い結婚されたご主人と妹背牛に「大黒屋菓子舗」を開店して60年余り。田植え後の青々とした生命力あふれる田んぼの風景に元気づけられてきました。お店番、お菓子作りと夫婦で過ごした時間は最高だったと振り返ります。今では町内外から愛される人気店となりました。持ち前の明るさでお店を切り盛りする郁代さん。代掻き後、水の張られた田んぼに月が反射する風景が大のお気に入り。今は、小さな島を探し出かけるのが楽しみだとか。還暦を迎える郁代さんは、子どもに還る“還暦”と言われるように童心のような素直な心で日々を過ごしたいとのこと。芳子さんは、健康に気を付けて夫婦二人で元気に過ごしていきたいと願っています。

季節が移り変わるといろいろな景色を見せてくれる田んぼの風景が楽しみながら、ご夫婦で農業を営んでこられました。毎年変わらない景色ですが、ご夫婦が同じ時間を共有し、日常となっている一番心安らぐ場でもあります。農作業が落ち着く冬場、編み物が得意な恵美子さんは、お子様のためにベッドカバー作りを始めました。春までには何とか仕上げたいと一針ごとに思いを込め編み進めています。また、お孫さんが誕生されるというおめでたいニュースもあり、「家族が増えて賑やかな1年になりそうです」と新しい家族の誕生をご夫婦揃って心待ちにされています。

「家族が元気で笑って過ごせるのが一番！」と新年を迎えるたびに実感されるそうです。



<清澤家>

恵美子さん(昭和33年) 哲弘さん(昭和33年)

長年歴任されていた農業団体役員をご勇退され、自由に過ごせる時間が出来た猛さん。野菜作りに挑戦したいと雪解けが待ち遠しいご様子。「黄金波うつ豊穡の秋」黄金色の稲穂が波打つ収穫前の田園風景が妹背牛らしく美しいと絶賛します。今までの知識や経験を生かし、黒毛和牛の品質改良と和牛飼育農家の拡大に努力したいと新たな目標に向け意欲を燃やしています。一方、恵美さんは、家事、育児、農作業に追われる毎日ですが、田畑が緑の絨毯のようになる景色に心が和むと言います。昔からお裁縫が得意で今も時間が出来ると、小物作りなどを楽しんでいます。子どもたちも少しずつ手が離れてきて、今年は、将来自分のために役立つ資格を取りたいと考えています。



<中易家>

恵美さん(昭和45年) 猛さん(昭和21年)

※お名前は、写真左側の方から掲載させていただきました。括弧内は、生まれ年です。